

SHOWA

第 88 期

報 告 書

平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日

 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953

株主の皆様へ

ごあいさつ



代表取締役社長

山本 駿一

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成22年3月31日をもちまして、第88期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成22年6月

社長インタビュー ～新中期経営計画「リカバリー130」の策定と新たな挑戦～

当社グループが、今後も『信頼され選択される企業集団』であり続けるために、「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」に取り組みます。

Q 第88期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半はリーマン・ショックに端を発した世界的な景気後退の影響を受け、深刻な状況に直面しました。この間、政府による財政出動や企業各社の生産調整（在庫・設備・雇用）もあり、後半には輸出や生産に改善の動きが見られるなど、景気後退に一定の歯止めがかかりました。しかし、設備投資が依然として低水準で推移する中で円高やデフレ圧力が加わるなど、事業環境は予断を許さない状況で推移しました。



このような情勢の中で当社グループは、液晶パネルメーカーの設備投資循環の三度目となる谷の影響で大幅な赤字が見込まれるサーモデバイス事業を補うため、中期経営計画「チャレンジ1（ワン）・2（ツー）・5（ファイブ）」において差別化を実現した製品「業務用エコキュート」等の拡販強化に努めてまいりました。

また、急激な受注減少に対応するために生産調整、残業の抑制、役員報酬・管理職給与のカット、在庫・経費の徹底した削減等で原価の低減を行ってまいりましたが、残念ながら株主の皆様のご期待に沿えるような業績を残すことができませんでした。

Q 第88期の業績についてお聞かせください。

景気回復は遅々として需要低迷が続いたことにより、当連結会計年度の当社グループの売上高は111億1千6百万円（前連結会計年度比19.5%減）、受注高につきましては113億8百万円（同比14.3%減）となりました。

損益面では、固定経費の削減、原材料費の低減等が寄与したものの、大幅な売上減少や在庫削減による操業度低下の影響により、経常損失は5億2千6百万円（前連結会計年度は経常利益1千6百万円）となりました。

また、特別利益に貸倒引当金戻入額等1千8百万円、特別損失に早期割増退職金、製品補修対策損失等1億6千7百万円を計上し、さらに繰延税金資産9億2千6百万円を全額取り崩した結果、当期純損失は16億3千6百万円（前連結会計年度は当期純損失1億2千6百万円）となりました。

区 分	第84期 (平成17年度)	第85期 (平成18年度)	第86期 (平成19年度)	第87期 (平成20年度)	第88期 (平成21年度)
受 注 高(百万円)	15,144	12,397	16,734	13,190	11,308
売 上 高(百万円)	14,820	13,855	14,520	13,813	11,116
経 常 損 益(百万円)	178	△ 667	116	16	△ 526
当期純損益(百万円)	47	32	44	△ 126	△ 1,636

Q セグメント別の業績をお聞かせください。

[空調関連事業]

空調関連事業につきましては、重点課題とした省エネ性・低CO₂排出ヒートポンプを利用した「業務用エコキュート」の拡販は一定の成果をあげることができましたが、「ファンコイルユニット」及び「エアハンドリングユニット」等の空調機器は設備投資の延伸やセントラル空調市場の縮小の影響により売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は70億5千5百万円（前連結会計年度比5.0%減）、受注高は71億5千9百万円（同比1.1%増）となりました。



株主の皆様へ

[サーモデバイス事業]

サーモデバイス事業につきましては、液晶パネルメーカーの設備投資循環による縮減やそれに伴う価格競争激化の影響により、売上は大幅に減少しました。一方で、当社が液晶パネル関連で培った技術を応用した「太陽電池薄膜用アニール処理炉」の初出荷ができましたが、開発試作的な段階にとどまりました。

その結果、当事業の売上高は14億7千7百万円（前連結会計年度比50.9%減）、受注高は12億9千8百万円（同比55.9%減）となりました。

[その他の事業]

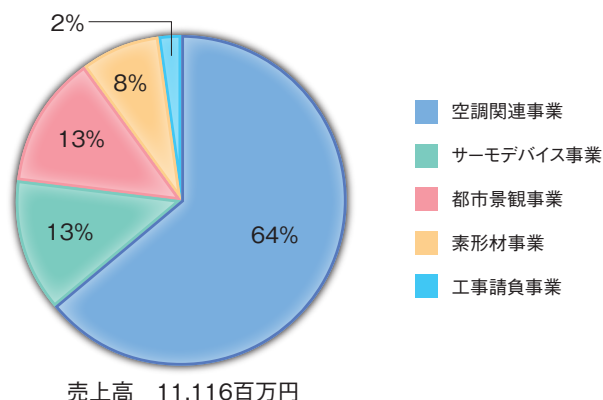
その他の事業につきましては、鋳造品等の素形材事業は景気減速の影響による一般産業機械関連の需要減少により、橋梁用防護柵等の都市景観事業と工事請負事業は公共事業削減の影響により、予想以上に低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は25億8千3百万円（前連結会計年度比23.4%減）、受注高は28億5千万円（同比9.9%減）となりました。

セグメント別の売上高・受注高

	売上高	受注高
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
空調関連事業	7,055	7,159
サーモデバイス事業	1,477	1,298
その他の事業	都市景観事業	1,491
	素形材事業	873
	工事請負事業	218
	2,583	2,850
合計	11,116	11,308

セグメント別の売上高構成比



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、BRICsを含む新興国の成長による輸出や生産の増加、設備投資の下げ止まり等を背景に、景気が再び大きく落ち込む恐れは後退しましたが、設備・雇用の過剰感がなお強く、デフレ基調であることから、景気回復は緩やかな状態が続くものと予想されます。

**Q 新中期経営計画を策定されたそうですが。**

当社グループは、創業130周年に当たる平成25年度を最終年度とする新中期経営計画「リカバリー130」を策定いたしました。

基本方針である「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を進め、平成25年度にはコアビジネスの連結売上高130億円以上、連結売上高経常利益率2%以上を目指し、意思決定の迅速化と経営の効率化を目的とした、組織のスリム化と指揮命令系統の一元化を実施し、「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」を重点課題に取り組んでまいります。

Q 新中期経営計画の初年度に当たる平成22年度の取り組みをお聞かせください。

新中期経営計画「リカバリー130」を推進していく上での優先課題として、平成22年度は厳しい状況が懸念されることから、一時的に役員報酬・従業員給与の減額を強化し、固定費の徹底した削減に取り組むとともに、財務体質の改善、CSRの推進、リスクアセスメントの充実及び人材の活性化に注力してまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えるための経営効率化、新規事業進出に備えるための内部留保の充実を勧奨し、配当を行うことを基本方針としております。

第88期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただきました。

株主の皆様には誠に申し訳なく、ここに深くお詫び申し上げますとともに、今後は収益力の向上に注力することで毎期の利益を積みあげ、安定的な配当の継続を早期に実現できるよう努めてまいります。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

環境の変化に迅速に対応できる機動的な体制の確立と的確な経営判断により、企業倫理に則った公正で誠実な事業活動を推進し、これからも『信頼され選択される企業集団』となりうるよう、全力をつくし事業基盤の早期回復に向け新たな成長分野へ邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





リカバリー130 *Recovery*

当社グループは、平成22年度から創業130周年に当たる4年後の平成25年度までに「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を目指し、新中期経営計画『リカバリー130』を推進してまいります。

重点課題 RECOVERY130 数値目標 RECOVERY130

1. 差別化した新製品・サービスの拡販

■機器装置事業

- 環境・省エネをキーワードにしたさらなる差別化の実施
- 「業務用エコキュート」や「ヒートポンプ式リタンエアデシカント空調機」をコアに拡販

■素形材加工事業

- 設備導入による精密鋳造品等の高付加価値化

■サービスエンジニアリング事業

- メンテナンス部門と工事部門との統合による相乗効果の創出
- 営業・販売・サービス体制の強化

2. 利益確保のための構造改革

■新しい収益源の確立

- 新設した総合開発部と各事業のソリューション部との連携
- 技術開発・製品開発及び新規事業の創出の全社的な推進



- 「モノづくりの昭和」から「技術&モノづくりの昭和」への変革

■サーモデバイス事業の再構築

- 固定費のミニマム化
- フレキシブルな生産体制の構築

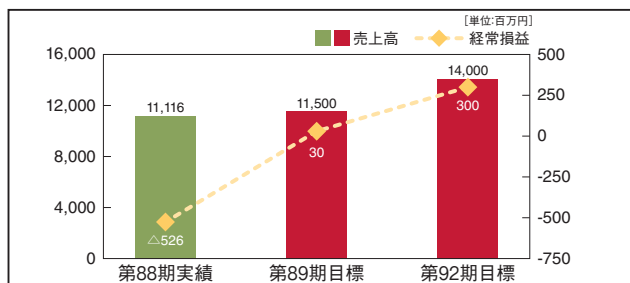


- 液晶パネルメーカーの設備投資循環への対応
- 高付加価値なエンジニアリング事業への転換

■コアビジネス（平成25年度時点）

- 連結売上高130億円以上
- 連結売上高経常利益率2%以上

区 分	第88期 実績 (平成21年度)	第89期 目標 (平成22年度)	第92期 目標 (平成25年度)
売上高(百万円)	11,116	11,500	14,000
営業損益(百万円)	△ 512	50	400
経常損益(百万円)	△ 526	30	300
売上高経常利益率(%)	—	0.3	2.1



優先課題 RECOVERY130

■財務体質の改善

- 在庫削減・経費削減の徹底

■CSRの推進

- コンプライアンス・環境に対する意識の醸成

■リスクアセスメントの充実

- 品質の向上、品質保証・生産体制の強化、安全・衛生活動の推進

■人材の活性化

- 人事制度の改正、技術継承の取り組み、人材育成機会の充実



ヒートポンプ内蔵型 リタンエアデシカント外気処理機

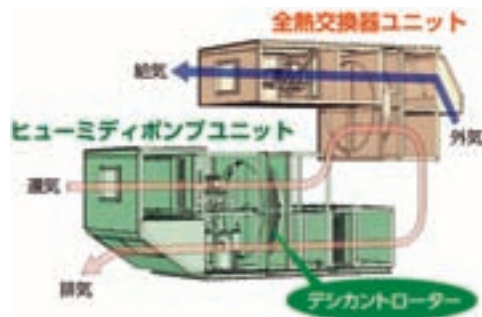
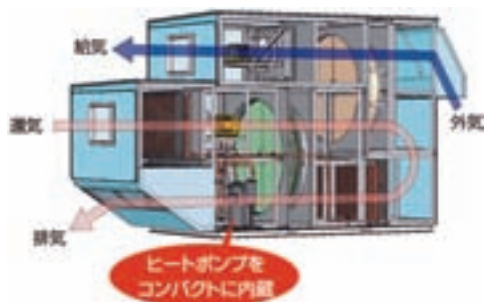
外気を室内温度まで処理するリタンエアデシカント外気処理機のヒートポンプ内蔵型を平成22年10月に発売予定です。

お客様のご要望に応え、ヒートポンプをコンパクトに内蔵して自己完結型を実現した最新型です。



- リタンエアデシカント方式採用により……大幅な省エネ効果を実現！
- 冬期の問題点であった加湿不足も………給水・加湿器なしで解消！
- 外気の湿度を完全に処理できるので………空調システムの新展開(高顕熱型ビル用マルチ、輻射冷暖房等)が可能！

●空気の流れとユニット構造図

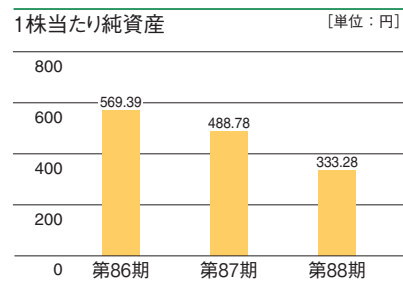
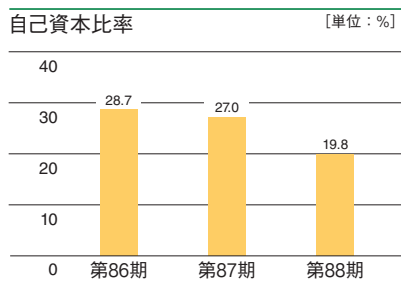
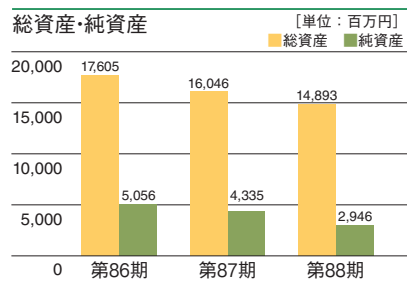


連結財務データ

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成22年 3月31日現在	平成21年 3月31日現在		平成22年 3月31日現在	平成21年 3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流 動 資 産	9,109	9,523	流 動 負 債	9,183	8,650
現金及び預金	2,476	2,308	支払手形及び買掛金等	2,886	2,773
受取手形及び売掛金等	4,973	4,643	短期借入金	5,314	5,017
たな卸資産	1,615	2,377	未払費用	529	473
繰延税金資産	—	152	未払法人税等	38	39
その他	59	56	設備関係支払手形	5	38
貸倒引当金	△ 16	△ 15	その他	409	308
固 定 資 産	5,784	6,523	固 定 負 債	2,764	3,059
有形固定資産	3,397	3,619	長期借入金	684	1,007
建物及び構築物	1,154	1,243	退職給付引当金	1,556	1,516
機械装置及び運搬具	484	585	長期未払金	—	96
土地	1,678	1,678	その他	523	439
建設仮勘定	1	3	負 債 合 計	11,947	11,710
その他	78	108	(純資産の部)		
無形固定資産	90	85	株 主 資 本	3,116	4,776
投資その他の資産	2,295	2,818	資 本 本 金	1,641	1,641
投資有価証券	1,643	1,412	資 本 剰 余 金	1,994	1,994
長期貸付金	—	7	利 益 剰 余 金	△ 488	1,164
繰延税金資産	—	774	自 己 株 式	△ 30	△ 24
その他	717	781	評価・換算差額等	△ 170	△ 440
貸倒引当金	△ 65	△ 156	その他有価証券評価差額金	△ 172	△ 438
資 産 合 計	14,893	16,046	為替換算調整勘定	2	△ 1
			純 資 産 合 計	2,946	4,335
			負 債 及 び 純 資 産 合 計	14,893	16,046





連結損益計算書

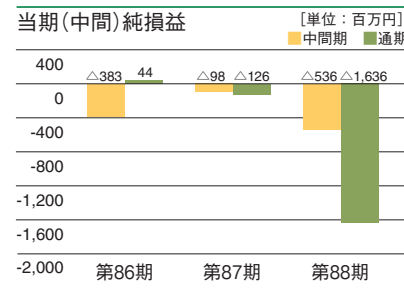
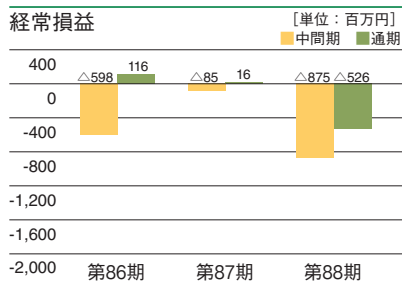
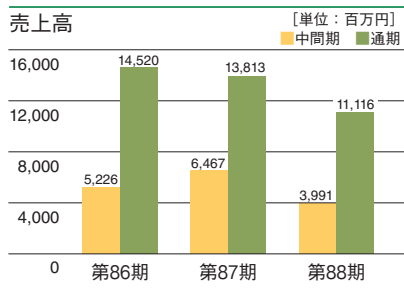
[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売 上 高	11,116	13,813
売 上 原 価	8,974	10,973
売 上 総 利 益	2,141	2,840
販売費及び一般管理費	2,654	2,808
営 業 損 益	△ 512	31
営 業 外 収 益	125	123
営 業 外 費 用	139	137
経 常 損 益	△ 526	16
特 別 利 益	18	12
特 別 損 失	167	81
税金等調整前当期純損失	△ 676	△ 52
法人税、住民税及び事業税	40	40
法人税等調整額	918	33
当 期 純 損 失	△ 1,636	△ 126

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期
	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	339	△ 57
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 121	△ 281
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 50	345
現金及び現金同等物の 増 加 額	167	5
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	2,308	2,302
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	2,476	2,308



会社の概況 Corporate Data

会社概要 (平成22年3月31日現在)

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	328名 (連結437名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器のほか、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品、液晶パネル製造用熱処理炉等の製造販売及び给排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負等
主な事業所	
東京支社	東京都大田区南六郷三丁目10番16号
工場	宇美工場、久山工場 (以上福岡県粕屋郡)、古賀工場 (福岡県古賀市)、札幌工場 (石狩市)
営業所	札幌 (石狩市)、仙台、北関東 (さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州 (福岡県粕屋郡)、南九州 (熊本市)、鹿児島
関係会社	朝日テック株式会社、昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、株式会社クリーンサポート、大連氷山空調設備有限公司

役員 (平成22年6月24日現在)

取締役・監査役		
代表取締役	山本 駿一	
取締役	山田 治彦	
取締役	相賀 恒男	
取締役	寺倉 彰	
取締役	福田 宣元	
取締役	筋野 隆	
常任監査役	飯田 久泰	
監査役 (常勤)	笠置 英明	
監査役	吉戒 孝	
監査役	永利 新一	
執行役員		
社長兼CEO	山本 駿一	
常務執行役員	山田 治彦	
執行役員	相賀 恒男	
執行役員	寺倉 彰	
執行役員	福田 宣元	
執行役員	村山 正巳	
執行役員	吉次 善広	
執行役員	福田 俊仁	

株式の状況 Stock Information

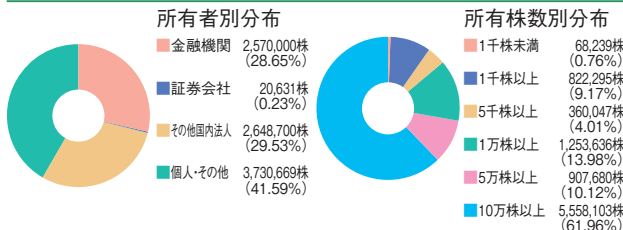
株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	992名

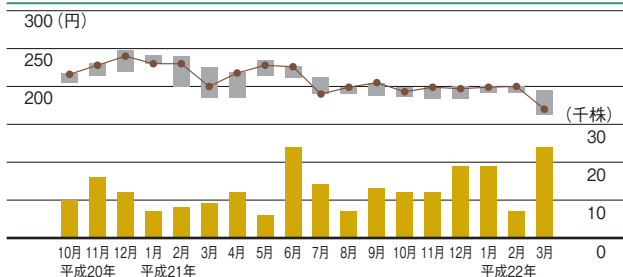
大株主 (平成22年3月31日現在)

株主名	持株数	議決権比率
三井金属鉱業株式会社	485,000株	5.56%
株式会社福岡銀行	418,500	4.79
株式会社西日本シティ銀行	400,000	4.58
飯田久泰	369,700	4.23
株式会社山口銀行	357,500	4.09
住友商事株式会社	345,000	3.95
飯田卓子	297,114	3.40
西日本鉄道株式会社	291,000	3.33
大同生命保険株式会社	200,000	2.29
稲田好美	198,135	2.27

株式分布状況 (平成22年3月31日現在)



株価の推移





事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主総会の招集地	福岡市
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並び に日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行って おります。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
単元株式数	1,000株

ホームページもご覧ください。

<http://www.showa.co.jp/>



株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買い取り・買い増し等のお申し出先について

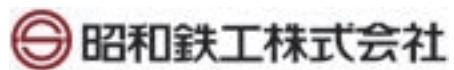
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

SHOWA



〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)

